

円畑

壁で囲まれた円形の特徴的な耕作地

空から見ると、三井楽半島の円畑と呼ばれる農地は、非常に特徴的です。円形で多色の円畑は、日本全域でよく見られる左右対称で四角い水田とは似ていません。福江島の北西海岸の低地であるこの半島は、五島層群（五島列島のもととなった地盤）の起伏の多い形状を形作った溶岩流よりはるかに年代の浅い玄武岩質溶岩流からできています。円形の農地を保護するために、溶岩石の壁や、密に植えられたツバキ（camelia）の木々が防風壁として使われています。この島には溶岩石も椿もふんだんにあるため、どちらの防風壁も島のほぼ全域で見られます。化粧品に使用されるツバキ油は島の主要な生産物です。円畑は、土壌の流出を減らすため、石積みの排水路に囲まれています。畑の形状は典型とは程遠いものの、耕作には現代の農機具が使われています。しかし、水の供給が乏しいため、この地域の大部分ではコメのかわりにサツマイモが作られています。サツマイモは、五島列島で唯一の酒造所で焼酎という九州で愛されているウォッカに似た酒を造るのにも使われます。